

日本地域福祉学会

No.62 2010.5.20

NEWS

発行 日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館 401

TEL 03-5363-1518 FAX 03-5363-1519

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jracd/> E-mail chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp

発行人：牧里每治 編集人：和気康太

CONTENTS

第24回大会の開催にあたって … 1	新潟大会の準備状況と内容について ……2
日韓研究交流について ……3	“みやこんじょ”の支え人から学ぶ ……6
学会連合シンポジウム報告 ……7	新入会員紹介 ……8
INFORMATION・編集後記 ……8	

日本地域福祉学会 第24回大会の開催にあたって

日本地域福祉学会第24回大会実行委員長 土橋敏孝（新潟青陵大学）



日本地域福祉学会第24回大会の開催を成功させるために皆さんの参加を心待ちにしております。

今回の新潟大会は、初めての日本海側での開催となります。大学数も少なく会員も少ない状況の中で、新潟県内福祉系各大学、新潟県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会を始めとして開催校である敬和学園大学、地元の新発田市社会福祉協議会他、県内市町社会福祉協議会のご協力のもと一丸となって準備を進めております。

皆様のご参加を心より歓迎申し上げます。

新潟県は、ここ数年のうちに中越大震災、中越沖地震、三条水害、雪害と自然災害に見舞われ尊い命が失われてきました。復興の過程を通して、このような非常時に日ごろからの地域における助け合いが改めて必要であることを身にしみて感ずることができました。

このような状況の中で、様々な要因によって崩壊の危機にある地域社会を再生し持続させるための政策論・方法論を見出し実践することが求められております。その方法論をめぐって地域でのソーシャルワーク実践の新しい展開を見出すべく研究協議ができればと願っています。

このため、今大会のテーマを「地域福祉実践の新局面ー地域を基盤としたソーシャルワークへの新たな期待と展望ー」といたしました。十分なる研究協議が行われることを願ってやみません。

さて、新潟県は、県民性が雪国であることから辛抱強く忍耐に富んでいると言われております。昨年の大河ドラマ直江兼続に代表されるように「信義と愛」が今の時代は必要ではないかと思われまます。福祉的にいえば良寛和尚の生涯は我々の模範とするものがあるのではないかと思います。

是非、金山の島・朱鷺の舞う島「佐渡島」も含めて、さらには、地震からの復興途上にあります新潟県内各地を学会の合間を縫って、あるいは前後して日程に組んでいただき新潟県を知ってくださることを願っています。もちろん、おいしいお肴とお酒も十分に用意させていただいております。皆さんどうぞお誘いの上ご参加ください。